



2025 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 岡本 毅
(コード番号 7746 東証スタンダード)
問合せ先 財務経理部長 風間 卓
電 話 04-7137-3111

2026 年 3 月期第 2 四半期(中間期)業績予想と
実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026 年 3 月期第 2 四半期(中間期)において、営業外費用を計上するとともに、2025 年 5 月 14 日に公表いたしました 2026 年 3 月期第 2 四半期(中間期)の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

2026 年 3 月期第 2 四半期(中間期)連結業績予想値と実績値の差異
(2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,279	百万円 △75	百万円 △116	百万円 △80	円 銭 △3.44
実 績 値 (B)	1,886	△266	△307	△226	△9.27
増 減 額 (B-A)	△393	△191	△191	△146	
増 減 率 (%)	△17.2	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	2,240	△25	△89	△81	△3.52

実績値との差異が生じた理由

当第 2 四半期(中間期)において、プロジェクターの需要低迷に伴う顧客における在庫調整により、フライアイレンズの売上高が計画を下回りました。また、当社製の偏光子は、顧客にてファラデー回転子と組み合わせて光通信に使用されますが、データセンタ投資の活発化により、ファラデー回転子の需給が逼迫しており、この影響で当社への偏光子の発注が急減いたしました。これらにより売上高は前回公表値を 393 百万円下回りました。

なお、通期の業績予想につきましては、プロジェクターの在庫調整が上期に進んでいることやファラデー回転子の供給増見通しにより、プロジェクター向けフライアイレンズ及び反射鏡並びに偏光子の需要回復が見込まれること、化粧瓶への加飾蒸着や UV 反射鏡の需要が好調であること、海洋事業ガラス球需要が当初見通しを上回る見込みであること等から、公表の予想値を据え置きます。

当社は、偏光子に係る以下の設備投資計画があります。

所在地 高田工場(千葉県柏市)
設備の内容 ガラス偏光子製造設備
投資予定金額 100 百万円
資金調達方法 自己資金
着手年月 2025 年 11 月

完成予定年月 2026 年 1 月

完成後の生産能力 生産能力 100%増加

当該設備投資につきましては、光通信用偏光子の需要動向等を見極めるため、延期を含めて検討中であり、現時点の通期業績予想には、この新規設備投資に係る減価償却費等のコスト増加及び売上高増加を除外しております。今後、開示すべき事項が新たに発生した場合には速やかに開示いたします。

以上